

## 平成 23 年度第 2 回研究企画委員会

### 議 事 録

1. 日 時：平成 23 年 7 月 7 日（木） 15:00～17:00

2. 場 所：日本応用地質学会 事務局会議室

3. 出席者：(アンダーラインは欠席、\*は委任状提出)

大塚委員長，長田副委員長，阪元幹事，天野委員\*，池田委員，江口委員，大野委員

小野田委員，笠委員，佐々木委員，品川委員，田中委員，照屋委員

(委任状提出者を含めて過半数以上の出席であり、委員会成立。)

(オブザーバー出席：末永会員、太田会員)

#### 4. 討議資料

- ◆研究企画委員会 平成 22 年度第 1 回委員会議事録(案)・・・・・・・・・・・・・・・・(23 研企Ⅱ資①)
- ◆地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期) 第 2 回委員会議事録(案)・・・・・・・・(23 研企Ⅱ資②-1)
- ◆岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)の状況(平成 23 年 7 月 7 日時点)・・・・・・・・(23 研企Ⅱ資②-2)
- ◆平成 23 年度第 2 回，3 回，4 回理事会議事録(案)・・・・・・・・・・・・・・・・(23 研企Ⅱ資③-1)
- ◆事業企画委員会資料(平成 23 年度第 2 回委員会議事録(案)、平成 23 年度研究発表会関連資料)・・・・(23 研企Ⅱ資③-2)
- ◆教育部門、とくに研究部会に関する討議資料・・・・・・・・・・・・・・・・(23 研企Ⅱ資④)
- ◆設立 50 周年記念出版物資料(50 周年記念出版物の発刊について、目次案と進捗状況(2011/6/21))・・・・(23 研企Ⅱ資⑤)
- ◆原稿「1 応用地質学の基本論理とその展開」「3 二十一世紀の問題から見た応用地質学」・・・・(23 研企Ⅱ資⑤-2)

#### 5. 議 事

##### 5-1. 委員の交代について

小野田委員から委員交代の意向が示され、了承した。後任は太田岳洋会員(鉄道総研)。委員交代の手続きを進めることとした。

##### 5-2. 前回議事録の確認

案について、承認した。

##### 5-3. 研究小委員会活動報告

###### (1) 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)

【報告事項】・・・阪元幹事

- ・ 第 2 回委員会(平成 23 年 6 月 16 日開催)の内容について。
- ・ 2 つの WG の研究方針、研究テーマに関する経過報告。
- ・ 次回以降の委員会予定(神戸大桜井先生による講演、巡検計画(富山))。

###### (2) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)

【報告事項】・・・江口委員

- ・ 技術書原稿作成、原稿校正を継続中。また、12 章(新たな分野)執筆分担については、調整中。
- ・ 幹事作成の全体工程案について、委員会内にて今後確認。

##### 5-4. 理事会・常置委員会報告

###### (1) 理事会

【報告事項】・・・大塚委員長

- ・ 平成 23 年度第 2 回(平成 23 年 5 月 19 日開催)、3 回(平成 23 年 6 月 2 日開催)、4 回(平成 23 年 6 月 17 日開催)理事会の内容について。
- ・ 東日本大震災特別委員会の設立が承認された。
- ・ 常置委員会の組織体制として、管理運営部門(総務、編集、事業企画、国際)と研究教育部門(研究企画、応用地質教育普及)に分け、研究教育部門に新たに研究部会を設置することが承認された。

- ・九州支部の受託研究に関する学会の受託研究取扱規程(案)の修正、業務委託規程の検討の動きについて。
- ・ その他。

**【意見等】**

- ・ 総会資料について研究企画関連部分にミスがあった。修正前の原稿が最終原稿となっていたようであり、次回以降、総務委員長との連絡体制を密にする。

(2) 総務委員会

**【報告事項】**・・・資料配付のみ

- ・ 平成 23 年度第 2 回委員会(平成 23 年 6 月 10 日開催)の内容、平成 23 年度研究発表会の内容について。

5-5. 学会の研究教育部門について

**【報告事項等】**・・・大塚委員長

- ・ 理事会報告のとおり、常置委員会を管理運営部門(総務、編集、事業企画、国際)と研究教育部門(研究企画、応用地質教育普及)に分け、研究教育部門に新たに研究部会を設置することとなった。
- ・ 研究部会について、まずは地下水と応用地形の 2 つを設置することで調整が進んでいる。
- ・ 研究小委員会に関しては、従来どおりであり、特に変更はない。

5-6. 学会設立 50 周年記念出版物について

- ・ 記念出版物編集部末永幹事より、作成済みの原稿のチェックに関する作業依頼があり、研究企画委員会で分担して実施することが決定された。
- ・ 分担については、下記のとおりとされた。

4-1 章「斜面災害」→江口委員

4-3 章「火山災害」→太田委員(小野田委員後任予定)

第 6 章「環境地質学」→品川委員

第 7 章「地質学」→田中委員

第 8 章「地形学」→佐々木委員

第 11 章「岩盤の評価」→長田副委員長

第 12 章「地質調査」→池田委員

第 13 章「物理探査」→照屋委員

第 14 章「情報地質」→笠委員

第 15 章「計測と解析」→天野委員

- ・ 具体的な作業内容については、末永幹事から別途各委員に直接メールで連絡頂くこととした。
- ・ 大野委員から「第 1 章 応用地質学の基本論理とその展開」「第 3 章 二十一世紀の問題から見た応用地質学」の原稿配布がなされた。各自、目を通して、意見があれば大野委員まで連絡することとした。

5-7. その他

- ・ 次回委員会は、平成 23 年 8 月 30 日(火)15:00 より学会事務局にて開催する。

以上